

6年ぶりに日漢協訪中団が中国を訪問

2024年11月1日(金)～4日(月)、2018年以来6年ぶりに日漢協が訪中団を結成、中国を訪問した。日中交流は、2019年に中国医薬保健品進出口商会(医保商会)の訪日以来、コロナ禍により途絶えていた。昨年より双方の間で交流再開を模索していたが、ようやく今回再開に向けた環境が整ったとの合意に至り、訪中が実現した。一団は総勢14名で、以下のような4日間の行程により、杭州市、蘭溪市、武義県において視察ならびに交流を図った。

■11月1日(金) 杭州市における視察および交流

➤ 「胡慶餘堂」の視察

中薬を扱う老舗の大型薬店で中薬博物館を併設している。訪れた日漢協メンバーは、胡雪岩の三宝(金銀製薬工具、戒欺額、薬局額)や名医・名薬紹介および一万種類を越える薬草の展示、ならびに実際に調剤を行う場面など、中薬の歴史の重みをかみしめるように、興味深く見入っていた。

➤ 医保商会、業界団体、地元企業との交流・歓迎会

見学後、医保商会、浙江省中薬材産業協会、同 国貿集団の幹部の方々から歓迎のご挨拶を受けた後、加藤会長から感謝の意が述べられた。その後、医保商会等が主催する歓迎会に招かれ、温かな歓待を受けた。一団は、各幹部や経営層の方々とは終始和やかに歓談の時間を過ごし、交流を深めた。



【胡慶餘堂にて】



【再会を祝い乾杯する双方の幹部】

■ 11月2日(土) 医保商会との交流会および蘭溪市における視察・交流



➤ 医保商会との交流会

翌2日(土)、日漢協と医保商会等との交流会が開催された。



【交流会の様子】



【交流会参加者】

冒頭、加藤会長がご挨拶の言葉を述べた後、中国側から、医保商会副会長 孟冬平様、続いて浙江省中薬材産業協会 会長 李明焱様からご挨拶および取り組み等について説明を受けた。



【加藤会長】



【孟副会長】



【李会長】

その後、双方の代表者が各取り組みについて発表を行った。

【日本側】

- ・「日漢協の概要・「漢方の将来ビジョン2040」の紹介」
（日漢協常務理事 町田吉夫氏）
- ・「日本の医療制度・漢方製剤等の現状」
（日漢協保険薬価委員会 委員長 坂上 誠氏）
- ・「中国における漢方情報の紹介」
（日漢協国際委員会 委員長 小柳 裕和氏）



【町田常務理事】



【坂上委員長】



【小柳委員長】

【中国側】

- ・「中薬規範栽培GAPの進展状況」（中国医学科学院薬用植物研究所 副所長 魏 建和様）
- ・「中国中薬材の市場動向」（中国医薬保健品進出口商会中薬部 主任 于 志斌様）

発表終了後、記念品の交換が行われた後、双方の企業間で名刺交換等、交流の場が持たれた。



【記念品交換の様子】



【魏副所長】



【于主任】

➤ 康恩貝 見学および交流

午後からは、バスで蘭溪市に移動、中薬関連製造販売企業である康恩貝を訪問した。同社では、抽出および製剤工場を見学、最新の抽出設備により高品質な中成薬を製造している現場を視察した。訪中団一同、担当者の説明に耳を傾けながら、同社の技術力の高さに感銘を受けていた。見学および記念撮影の後、別室に移動し、意見交換の場が設定された。

先方からは、同社の叶劍峰副総裁、茫杰総経理が同社の概要等について説明された。協会側からは、クラシエ薬品の草柳徹哉副会長によるご挨拶および他のメンバーから先方へ活発に質問が挙がるなど、有意義な意見交換の機会となった。会終了後、現地企業も含め、夕食会が開催され、双方の間で積極的に情報交換が図られた。



【康恩貝での集合写真】



【挨拶をする草柳副会長】



【夕食会の様子】

■11月3日(日) 武義県における視察・交流



➤ 寿仙谷 見学および交流

訪中3日目となる3日(日)は、朝からバスで武義県に移動し、中薬関連原料の販売を行っている寿仙谷を訪問した。まず、見学した同社の万亩基地は、菊花、靈芝、番紅花など漢方薬原料の栽培および販売を行っており、日漢協メンバーは、生育中の生薬や製品化されたパッケージを熱心に観察していた。一団は、伝統的な漢方薬の完全なる産業チェーンを構築する国営ハイテク企業である同社に対して、その栽培技術の先進性やスケールの大きさに感動を覚えた様子であった。

その後、メンバーは、菊花等の畑を見学した後、場所を同社の本社に移し、館内を視察した。続いて、李明焱会長をはじめ、同社の幹部の方々との交流会が開催された。先方よりあらためて概要の説明があった後、栃本天海堂の栃本大輔副会長が謝意を述べた。次に、情報交換のセッションに移り、活発な意見交換が交わされた。その後、会食の機会が持たれ、親交を深め友好関係を確認し合った。なお、ジェーピーエス製薬の小林誠二監事から記念品の贈呈および会食での中締めがとり行われた。



【寿仙谷での集合写真】



【謝意を述べる
栃本副会長】



【小林監事による記念品
贈呈の様子】

■11月4日(月) 移動および帰国

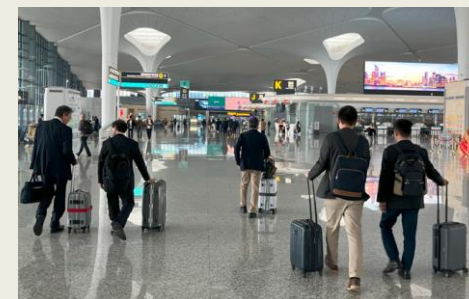
訪中団は、一部の方を除き、早朝よりバスで杭州萧山国際空港に移動、4日間にわたる各団体との交流を終えた感慨を胸に帰国の途についた。

☆今回の日漢協訪中団メンバー（14名）

	勤務先	役職	氏名	役職(勤務先)
1	(株)ツムラ	会長	加藤 照和	代表取締役社長
2	(株)ツムラ	保険薬価委員会委員長	坂上 誠	渉外調査室室長
3	(株)ツムラ	国際委員会委員長	小柳 裕和	生薬本部
4	(株)ツムラ	広報委員会副委員長	中浜 孝	CC室
5	クラシエ薬品(株)	副会長	草柳 徹哉	代表取締役社長
6	クラシエ薬品(株)	薬制委員会委員長	栗田 宏一	薬品信頼性保証室室長
7	クラシエ薬品(株)	コード委員会委員長	松塚 泰之	薬品カンパニー企画部課長
8	クラシエ薬品(株)	国際委員会副委員長	韓 青松	生薬エキス統括部部長
9	(株)栃本天海堂	副会長	栃本 大輔	代表取締役社長
10	(株)栃本天海堂		庄 妍	原料部
11	ジェーピーエス製薬(株)	監事	小林 誠二	会長
12	ジェーピーエス製薬(株)	コード委員会委員	相澤 誠	開発部課長
13	日本漢方生薬製剤協会	常務理事	町田 吉夫	
14	日本漢方生薬製剤協会	事務局長	栗村 芳之	



【建国75周年を伝える杭州空港のモニュメント】



【杭州空港で帰路につくメンバー】